巻頭特集

子供達が楯岡高校跡地のにぎわいを考える
マインクラフト大会を開催

村山市で進む ICT教育の取組み

今年の4月から小学校でプログラミング授業導入が始まります。村山市では、H29年からプログラミング講座を、さらに今年2月にはその集大成としてマインクラフト大会が開催されました。

取材／菅野美和子　撮影／佐直和春　文／熊谷弘美

ICTを活用した教育や仕事の在り方を支援する先進的な取組み

※ICT…情報通信技術のこと

〈ずーにゃ編集室〉 村山市でテレワークやプログラミング教育の支援を行っているダブルインフィニティコーディネート代表の齋藤博美さんに伺いました。

子供達がまちづくりへの興味をもつきっかけとして期待マイクラフト大会in村山

―プログラミング講座を行なっているそうですね。

斎藤　今年4月から授業の中にプログラミングが入ってくるのに先駆けて、プログラミングを作るときに必要とされる考え方を学ぶ講座を、開催しています。

―マインクラフトの大会について教えてください。

斎藤　マインクラフトとは、バーチャルな空間でブロックを組み合わせて物を作って遊ぶゲームです。画面の中で、レゴのようにブロックを積み上げて様々な世界を作ることができます。今年2月の大会では、小学生から短大生までの子供達が4人1グループになって、楯岡高校跡地の利活用について提案してもらいました。高校の正門前にジェットコースターができちゃったりとか、動物園があったり、3階フロアが全部プールになっていたりと、子供ならではの発想力に驚かされました。

―今後の展望は？

斎藤　ゲームと教育が直結する今の時代、地域をどのように活性化していくかというテーマに、マインクラフトは良いツールです。また、プログラミングを学んだ経験が、将来IT関連など職業選択の幅が広がるかもしれません。さらに言うとプログラミングを使って日本をより良くしたいんだという人が出てきてくれたらいいなと思います。

ダブルインフィニティコーディネート
代表　齋藤博美さん

村山市政策推進課　課長補佐
竹川博昭さん

村山市では子供達のプログラミング教育や、大人を対象としたテレワーク推進する事業に平成29年から取組んできました。また、楯岡高校の跡地にコワーキングスペースやカフェを設置して、いろんな人が集まる賑わいを作っていこうと計画しています。この楯高跡地の正式名称が「にぎわい創造活性化施設」に決まり、今後は令和4年度春の完成に向けて、愛称も募集して地域で盛り上げていく計画です。この度のマインクラフト大会もその計画の一つ。子供達に人気のマイクラを使って、この事業に関心をもってもらいたいというのも開催目的です。今回の大会で出た子供達の発想から、何か一つでも叶えてみたいなと考えています。

様々なアイデアをまとめて若い人達が集える場を提案

〈ずーにゃ編集室〉 マインクラフト大会in村山に参加した村山産業高校の板垣遥さんに、大会の感想などについてお話を伺いました。

小学生から短大生まで共に取組むチーム制は貴重な体験に

―マインクラフトを知っていましたか？

板垣　今年からスマートフォンでやっています。今回の大会には先生に誘われて参加しました。

―大会に参加してみていかがでしたか？

板垣　小学生から高校生までの参加者4人1チームで取り組むのですが、いつも1人でやっているので、人と話しながらやるのは楽しかったです。

―どんなものを作りましたか？

板垣　若い人達が集まるようなカフェやホールです。ホールでは映画も上映できたらいいなと思って作りました。

―大変だったことは？

板垣　小学生のメンバーが、遊び場を欲しがったので、体育館をアスレチック場にしました。また中学生は外回りというか中身より見た目を気にしている感じで、校舎の外側に木を植えたり、噴水を付けたりして、観るポイントがそれぞれ違うので、まとめるのが大変でした。

―出来栄えはいかがでしたか？

板垣　楯岡高校跡地ということで、いろいろ制限がある中での制作でしたが、初めてにしては良かったと思います。バーチャルな空間では多くの発想がイメージしやすくなるので、まちづくりにも活用できそうだし、今後そういう機会があれば参加してみたいです。

村山産業高校　板垣遥さん

チームのみんなと作る難しさと楽しさを感じたマイクラの大会

〈ずーにゃ編集室〉 袖崎小学校の森僚汰さんも、マインクラフト大会in村山に参加した1人。大会で作ったものや苦労した点などについてお聞きしました。

細かいところまで作り込んで完成させた楯岡高校跡地の未来像

―今回の作品で見どころは？

森　アスレチックで遊んだあとに1階のカフェで休憩できるようにしました。カフェには調理室とかもちゃんと作って、調理している様子も見られるよう窓ガラスを付けています。

―参加してみての感想は？

森　結構時間がかかったけど、みんなとこの部屋なら、どんなものがいいか、遊んでみてどう思うかとか、いろいろ考えていけたのでとっても面白かったです。みんなで相談して、こういうのを作ったら面白いと思うものをマインクラフトで作っていく感じで進めました。楯岡高校跡地という実際の建物があるので、やりやすいけど、難しいところもたくさんありました。特に作ったところをどうすればもっと楽しいところにできるかを考えて自分達でプログラミングしていくのが、結構難しかったです。

―今後もこういう大会があったら参加してみたいですか？

森　今回の大会で、いろんな人との交流も広がったし、楽しかったので、また参加したいです。将来的に、パソコンでプログラミングするようなことにずっと関わっていきたいと思います。

―まちづくりを明確にイメージできるマイクラの大会。参加した子供達の未来が、楽しみです。

袖崎小学校　森僚汰さん